



北九州市は五日、構造改革特区「市福祉有償運送セダン型車両特区」の認定を国に申請した、と発表した。NPOなどが料金を取り、車で要介護者や身体障害者を送迎するサービスは、いまのところリフトやスロープがついた福祉車両に限定されている。特区が認定されればセダン型の乗用車も使えることになる。

市によると、セダン型の乗用車を福祉有償運送サービスに使用する特区は全国で二十二件認定されているが、県内では初めての申請という。「朝日新聞」〇五年一〇月六日付け朝刊

北九州市「セダン特区」申請 来年度から 「福祉有償運送」開始予定

上記の記事にある通り、北九州市は、五日、構造改革特区「市福祉有償運送セダン特区」の認定を国に申請しました。

福祉有償運送の特典申請がされたことは、私たち「さわやか」の通院送迎が引き続き出来ることへの第一歩です。

セダン型の「福祉有償運送」の第一歩は、何と云っても、構造改革特区をとることです。

北九州市では、福祉有償運送のための、準備委員会も発足し、この準備会が、運営協議会に発展、解消する予定です。まだ、運営協議会は発足していませんが、近い将来、運営協議会が出来るものと思われまます。

セダン型を運転する場合は、二種免許か、行政が行なう研修会を受け、資格をとらなければなりません。

研修会については、市の方で開催する予定です。

時期は、今年度中に、現在活動しているボランティアさんは受講が可能なように準備がされそうです。

介護保険制度が出来て、移送サービスの問題がクローズアップされて来ました。

北九州市では、来年四月一日から実施される、「福祉有償運送」に何とか間に合います。市と運営協議会のご努力を宜しくお願いいたします。

尚、ご不明な点が御座いましたら、遠慮なく、「さわやか」まで、ご連絡下さい。



北九州市保健福祉局計画課より十一月二日に「北九州市福祉有償運送運営協議会」の十二月の設置に向け申請に関する説明会を開催するとの連絡がありました。詳細は、来月お知らせ致します。

九月十八日に、「さわやか」の臨時総会を開催し、新しくお二人の理事が就任されました。

新理事ご紹介



若原 清彦

医療法人「恵友会」折尾クリニック 折友会

江頭前理事長、永い間、「さわやか」の基盤、道筋等を作っていたいただき、ありがとうございます。大変なご苦労の数々だったので、心よりお礼の言葉と感謝を思うばかりです。「お疲れ様でした」ではなく、これからご助言等を頂きたく、まだまだよろしくお願い申し上げます。言葉で終わらせていただきたく思います。

先だって『「さわやか」の理事をやつてもらえませんか』とのお声掛けをいただき、自分なりに前向きに考え、お引き受けすることに致しました。

山田理事長のもと、お声を掛けていただいた以上皆様又ご家族様の事を思い一步一步前向きに、皆様と共に「さわやか」の発展を思い計りながら、従事させていただきます。



「さわやか」事務局 高原 由美

この度、「さわやか」の理事に就任する事になりました。「さわやか」事務局にお世話になり、早五年が過ぎました。最初は、何もわからない事だらけでしたが、江頭前理事長を始め、山田理事長、小倉事業所の諸先輩方や、ボランティアの皆さんのご指導をいただき今日まですることができ、感謝いたしております。これからたくさん問題が出てくるものと思われまますが、一つ一つ、皆様と共に乗り切っていくように頑張つてまいります。よろしくお願ひ致します。

編集後記

政界では、「小泉チルドレン」が、話題を集めているようですが、我が「さわやか」では、「江頭チルドレン」達が「江頭教室」で学んだ、基本的なものを、しっかりと受け継ぎ、より新しい「さわやか」にして行くことと思っております。

頑張るしかないっちゃ!

(Y)

⑦「心」と「涙」のついで

TVやら新聞でご存知の方もおられると思いますが、「夜回り先生・水谷修先生」という方がおられます。夜間高校の先生で、授業終了後は、「夜回り」と称して夜の街に出て、夜遊びしている生徒たちを指導しています。

夜遊びに出る生徒のほとんどが、昼の世界からはみ出した生徒だそう。昼の世界の様々なストレスで、夜の世界に救いを求めるそうです。夜の世界は、どんな人でも、全て受け入れてくれるそうです。受け入れると同時に、悪の世界にじわじわと引きずりこまれ、最後は身も心もボロボロになって捨てられます。水谷先生は、そうなる前に生徒を昼の世界に戻すのが仕事だそう。先生の本の中から、特徴的な話を二題紹介します。

『心』は何処へ行ってしまったんだ！

①時間は午前三時過ぎです。土手に野球帽を深くかぶった一人の少年がぼつんと座っていました。私はためらうことなく話かけました。・・・驚きました。彼は昨夜、連続六店舗のレンタルビデオ店に押し入り、包丁を手に店員を脅し、数十万円を強盗したと言っています。彼は、誰がみても真面目そうな青年。強盗をしたような子にはとても見えませんでした。私は彼の傍らに座り、彼の話を聞きました。彼は、都内でも有数の受験校に通う高校三年生でした。両親の期待を一心に受け、めざせ東大。まじめなエリートコースを歩いていました。ところが夏休みからスランプに。いくら勉強しても成績が上がらず、下がるばかり。数日前に、もうどうしようもないと思いつめ、家を出たそうです。でも、持っていたお金も底をつきはじめ、

それなら強盗をと思いつめ包丁を買い、次から次へ下町のレンタルビデオ店を襲ったのだそうです。「先生、何がだかわからないうちに、してしまっただ」彼は泣きながら私に訴えました。「どうすの？」と私が聞くと、私にしがみつきのながら、「先生、どうしたらいいの」と聞いていました。

私は何も答えませんでした。ただ、彼の横に黙って悲しい顔で座っていました。言葉がなくても、じつと側にいれば、子供に想いは伝わりやす。そして、その想いを子供たちはきちんと受け止めてくれます。子供たちへの言葉には、多くの場合反発が返ってきます。しかし、想いには、子供たちも想いをきちんと返してくれます。

朝方、彼は警察に自首することを決めました。彼は、孤独な子でした。そして、まじめすぎる子でした。彼に誰か相談にのることのできる大人が、仲間が一人でもいたなら、防ぐことのできる犯罪でした。

②「夜回り先生」Part II
メールが来ました。「水谷先生、僕、死ぬと思う。でも、最後に先生と話したいな。僕、いじめられてる。親からもいじめられてる。学校でも今日、担任の先生に勧められた。僕、死ぬんだ」。

この子の母親は、地方都市のはずれのほんとうに小さな村で美容室をやっています。お客なんかほとんど来ないわけですから、財政的にも破産状態。父親はパチンコ狂い。家庭はメチャクチャです。洗濯もしてもらえなければ、ご飯もろくに食べさせてもらえない。

そんな状態で学校に行っていたのです。

学校へは、いつも汚い格好で行きますから、仲間からは「臭い、臭い」といじめられていた。そんななかでリストカットを始めていたそうです。リストカットをやっている子に、「何やってるの。バカなことば止めなさい」と言うのは、「死ぬ」に等しいことなのです。

僕はこの子に言いました。「今はリストカットするな。今は死ぬな。だれか廻りに『この人なら信じてもいいな』という先生はいるか？大人がいるか？」そうしたら、「校長先生」という声が返ってきたのです。「校長先生は、何で信じられる？」「四月に来た先生だけど、廊下で会ったりすると、『いい子だね』と頭をなでてくれたり、すごく優しいんだ」。

【最終章】

江頭 博幸

随想

近頃痛切に

感じることに

あの先生なら信じられるかもしれない

「わかった。じゃあ、いいか、明日の朝、校長先生のところのカミソリを持って行って、ロープも持っていいぞ。校長先生の前でリストカットをしろ。校長先生の前でしなさい。そのかわり、自分の心のつらさを全部、校長先生に話して『らん』そう言って、僕はその校長先生に賭けてみることにしました」

翌日八時四十分過ぎ、泣いている彼から電話がありました。「先生、先生ーっ」「どうした？」「先生、校長先生に話してカミソリを見せたら、『つらかったんだね』と抱きしめてくれた。校長先生、僕のために泣いてくれた」と言うんです。「よかったなあ。わかってもらえそうか？」「うん」「よし、校長先生にちよつと代われ」

校長先生はボロボロに泣いておられて、僕にこう言いました。「水谷先生のごことは存じております。本当に申し訳ない。自分の手でこんなにかの子が苦しんでいることにまったく気づかなかった。先生、この子を何として助けたい」以上、二つの話は、「心」は、黙っていても通じ合うこと、「涙」は、どんな言葉より説得力があることが証明されたと思います。日本人の自殺者は三万人を超えています。交通事故が交通戦争に喩えられ、戦争のような死人と言われますが、それでも、九千人です。自殺者は戦争以上のものなのでしょう。自殺者の周りに、義理・人情があり、

「心」と「涙」があれば、どれだけの人が救われるでしょうか。
「世界で一番大きくて広いものは海です。海よりも大きく広いものは空です。空よりも大きく広いものは『人間の心』です。」
(ピクトル・ユーゴ)